

ウォーターサーバー取扱説明書

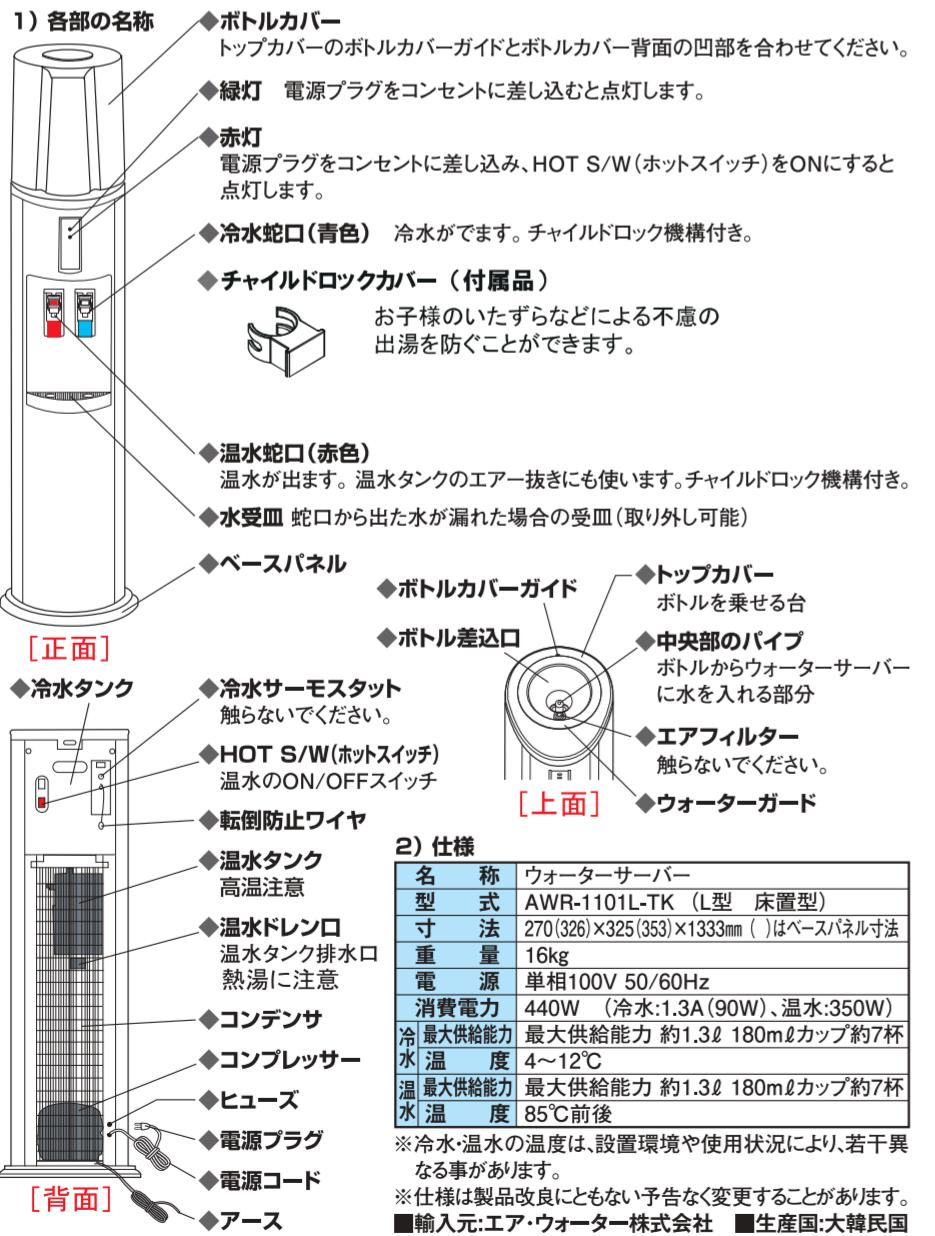


型式: AWR-1101L-TK
(L型)
床置型

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、
正しくお使いください。お読みになった後も、
この取扱説明書はこの製品をご使用になる方が
いつでも見られるように大切に保管して下さい。

2018.02 (4)

2. 各部の名称と仕様



1. 安全上の注意事項

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、次のような区分表示をしています。いずれも安全や衛生に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しくお使い下さい。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	ご使用時のお願いです。

絵表示の例

禁止	左記の記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は「禁止」)が描かれています。
注意	左記の記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は「注意」)が描かれています。

2. 設置上の注意事項

注意	設置面が水平で丈夫な所に設置してください。 設置面が安定していないと、転倒や落下により事故やケガ、感電、火災、火傷の恐れがあります。
禁止	延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。 異常発熱し、発火や感電することがあります。
注意	ウォーターサーバーの背面と側面は10cm以上あけてください。 冷却性能確保のため必要です。壁が汚れたり、火災や故障の原因となります。
禁止	電源は単相100Vで定格15A以上の専用コンセントを単独で使用してください。
禁止	電源コード、電源プラグの破損・加工をしないでください。 束ねたり無理に曲げたり、引いたり張ったり物を乗せたり、衝撃を与えたたりして、無理な力を加えない、傷つけない、加工しない、感電、ショート、火災の原因になります。
注意	必ずアースしてください。 故障や漏電のとき、感電する恐れがあります。

3. 設置方法

1) ウォーターサーバーの設置

- ①箱より出してください。
- ②コンセントのある場所にセットしてください。

注意 まだ、コンセントに電源プラグを差し込まないでください。

電源コードは1.7mです。

チェックポイント

- ①0℃以下の低温となる場所に設置しないでください。
- ②平らで安定した場所に設置してください。
- ③後方が壁から10cm、側面も10cm以上離して設置してください。
- ④付属の転倒防止ワイヤをしっかりと壁に、1箇所ネジ止めして下さい。

チェックポイント

- 水がサーバーに入っていくとボトルが変形して潰れていきます。変形が止まるまで(1分程度)の間、水漏れがないことを確認してください。

チェックポイント

5) 温水タンク内のエアーフルーティング

6) 電源プラグをコンセントに差し込む

7) HOT S/W(ホットスイッチ)をONにする

8) ボトルをウォーターサーバーにセット

9) アースの取り付け

10) ポトル開封の際にカッターナイフを使用しないでください。ボトルに傷が付いて水漏れする恐れがあります。

11) ボトルの表面を清潔な乾いたキッチンペーパー等で乾拭きしてください。

12) プラスチックキャップの上面のキャップシールを剥してください。

13) プラスチックキャップは水を使い切るまで外さないでください。

14) 当社のボトル以外は使用しないでください。

15) トップカバーにボトルカバーを乗せる。

16) 冷水・温水の蛇口よりカップ2杯分以上の水を取水して捨ててください。

17) HOT S/W(ホットスイッチ)をOFFにする

18) 電源プラグをコンセントから抜く

19) ボトルを箱に入れてください。

20) ボトルを箱に入れてください。

21) ボトルを箱に入れてください。

22) ボトルを箱に入れてください。

23) ボトルを箱に入れてください。

24) ボトルを箱に入れてください。

25) ボトルを箱に入れてください。

26) ボトルを箱に入れてください。

27) ボトルを箱に入れてください。

28) ボトルを箱に入れてください。

29) ボトルを箱に入れてください。

30) ボトルを箱に入れてください。

31) ボトルを箱に入れてください。

32) ボトルを箱に入れてください。

33) ボトルを箱に入れてください。

34) ボトルを箱に入れてください。

35) ボトルを箱に入れてください。

36) ボトルを箱に入れてください。

37) ボトルを箱に入れてください。

38) ボトルを箱に入れてください。

39) ボトルを箱に入れてください。

40) ボトルを箱に入れてください。

41) ボトルを箱に入れてください。

42) ボトルを箱に入れてください。

43) ボトルを箱に入れてください。

44) ボトルを箱に入れてください。

45) ボトルを箱に入れてください。

46) ボトルを箱に入れてください。

47) ボトルを箱に入れてください。

48) ボトルを箱に入れてください。

49) ボトルを箱に入れてください。

50) ボトルを箱に入れてください。

51) ボトルを箱に入れてください。

52) ボトルを箱に入れてください。

53) ボトルを箱に入れてください。

54) ボトルを箱に入れてください。

55) ボトルを箱に入れてください。

56) ボトルを箱に入れてください。

57) ボトルを箱に入れてください。

58) ボトルを箱に入れてください。

59) ボトルを箱に入れてください。

60) ボトルを箱に入れてください。

61) ボトルを箱に入れてください。

62) ボトルを箱に入れてください。

63) ボトルを箱に入れてください。

64) ボトルを箱に入れてください。

65) ボトルを箱に入れてください。

66) ボトルを箱に入れてください。

67) ボトルを箱に入れてください。

68) ボトルを箱に入れてください。

69) ボトルを箱に入れてください。

70) ボトルを箱に入れてください。

71) ボトルを箱に入れてください。

72) ボトルを箱に入れてください。

73) ボトルを箱に入れてください。

74) ボトルを箱に入れてください。

75) ボトルを箱に入れてください。

76) ボトルを箱に入れてください。

77) ボトルを箱に入れてください。

78) ボトルを箱に入れてください。

79) ボトルを箱に入れてください。

80) ボトルを箱に入れてください。

81) ボトルを箱に入れてください。

82) ボトルを箱に入れてください。

83) ボトルを箱に入れてください。

84) ボトルを箱に入れてください。

85) ボトルを箱に入れてください。

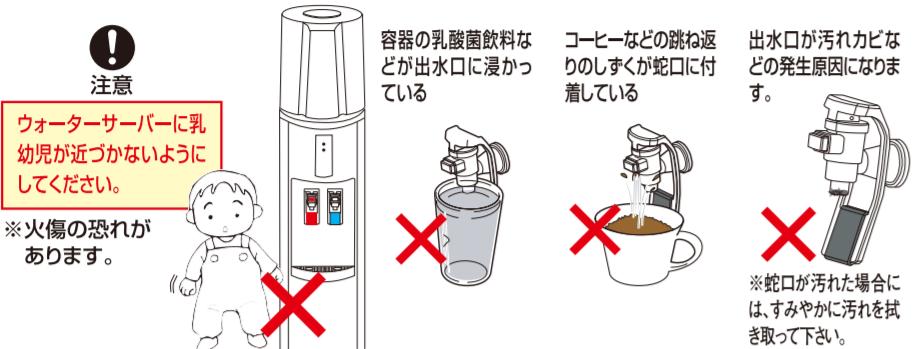
86) ボトルを箱に入れてください。

87) ボトルを箱に入れてください。

88) ボトルを箱に入れてください。</h4

5. ご使用時に特にご注意いただきたいこと

- 1) 冷水や温水を受ける容器は、蛇口の真下で出水口から少し距離をあけて受けて下さい。
出水口に容器が近すぎると、出水口が容器内に浸かってしまい、不衛生になります。
また、容器内にコーヒー・紅茶や焼酎・ウィスキー、乳酸菌飲料などの原液がある場合、出水口にそうした飲料の跳ね返ったしづくが付着して、カビや雑菌の発生原因となる恐れがあります。

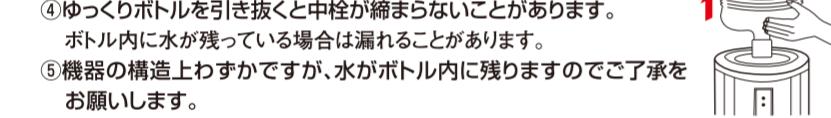


- 2) 出水口に指や食品が触れないように注意してください。
指や食品に付着している雑菌が蛇口に付着して、供給される水が不衛生になります。



- 3) 水受皿に容器を置いて、温水や冷水を出さないでください。
容器が倒れ、床面が濡れたり火傷をしたりする恐れがあります。
容器は手を持ってお使いください。

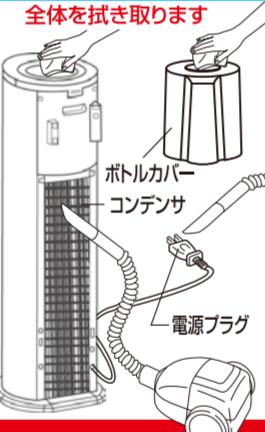
- 4) ボトルの取り外し方。
①ボトルカバーを外してください。
②ボトルの中栓が外れて浮いていないことを確認してください。
中栓が外れている状態でボトルを抜くと水が漏れてしまいます。この場合は水を使いつぶら抜いてください。
③ボトルを外す時は必ず真上に一気に引き上げてください。
ボトル内の中栓がボトルを引き上げることになり、自動的に締まりますので、ボトル内に水が残っていても水は漏れません。
④ゆっくりボトルを引き抜くと中栓が締まらないことがあります。
ボトル内に水が残っている場合は漏ることがあります。
⑤機器の構造上わずかですが、水がボトル内に残りますのでご了承をお願いします。



7. お手入れ方法と日常点検

②定期的に行っていただくお手入れ

- a.本体外面とボトルカバー(一週間に一回程度)
清潔なタオル等で乾拭きしてください。
汚れがひどい時は食器洗い用中性洗剤を使用して拭きとってください。研磨剤入り洗剤で磨かないでください。



- b.背面部分(コンデンサ)(一週間に一回程度)
ウォーターサーバーの背面は放熱部となっています。
ホコリが付着すると冷却能力が低下します。
やわらかうりや掃除機等で掃除してください。

- c.電源プラグ(一週間に一回程度)
電源プラグの刃先にホコリが付着するとラッピング現象が起こり、発煙発火することがあります。掃除機やブラシ等でホコリを取ってください。

2) 長時間使用されない場合のお手入れ

お願い

ウォーターサーバーを長時間使用されない場合は、水が不衛生になる可能性があります。
2週間に一度使用されない場合は、TOKAIお客様センター(0120-737-113)に連絡をしてください。1ヶ月以上使用されない場合は、サーバーメンテナンス(有償)を依頼して下さい。

- 注意**
作業を行なう前に必ず背面のHOT S/W(ホットスイッチ)をOFFにし、電源プラグを抜いてください。ウォーターサーバーや手が濡れている状態での作業はしないでください。
※この作業はすみやかに行なって下さい。

- ①ウォーターサーバーからボトルを外す。
(P4) ボトルの取り外し方(参考)。
②熱湯が冷めるのを待つ(電源を抜いてから60分以上)。
火傷する恐れがありますのでご注意ください。
③温水蛇口からカップ等に水を汲み、冷めているか確認する。
④冷温蛇口をバケツ等で受けて、冷温蛇口を開き、冷水を完全に抜く。

- ⑤背面の温水ドレン口をバケツ等で受けて、温水ドレン口のキャップを外し、温水を完全に抜く。
熱湯が出ることがありますのでご注意ください。

- ⑥温水ドレン口を閉める。
⑦ボトル差込口、冷温蛇口、温水蛇口、温水受皿等の掃除を行なう。
(P7) お手入れ方法と日常点検(参考)。

- ⑧ウォーターサーバー上面のウォーターガードを食品用ラップ等をかけ、ホコリやゴミが入らないようにする。
(ラップフィルムがずれないようにテープ等で固定する)
⑨蛇口も食品用ラップ等でくるむようにしてホコリが付着しないようにする。

- ⑩直射日光や雨の当たる場所は避けて、換気の良い室内に保管してください。

- 5) ボトルの取り付け方。
注意 ボトルは満水の状態で約12.5kgあります。大変重いのでお取り扱いにはご注意ください。

- ①交換する新しいボトルを機器の近くに用意してください。
新しいボトルの表面を清潔な乾いたキッチンペーパー等できれいに拭きとどけてください。

- ②ボトル差込口に水がたまっている場合は、清潔な乾いたキッチンペーパーで吸い取ってください。
清潔な乾いたキッチンペーパーに台所用アルコール除菌剤をしみこませて、ボトル差込口を拭いてください。(P7. お手入れ方法と日常点検)参照)

- ③新しいボトルのキャップシールを剥がしてください。
ボトルを逆さまに持ち上げ、差込口に真下に手早くしっかり差し込んでください。ボトルがウォーターガードにあたるまで押し込んで完了です。

- 禁止** 差し込んだボトルは押さないでください。
水が漏れることができます。

- 注意** ボトルが斜めになってしまっているとボトルの中栓が外れてしまい、水中に浮き上がってしまう場合があります。そのまま使っていたいでも使用には差し支えありませんが、この場合、ボトルに水が残っている状態でボトルを外すと水が漏れますので完全に使い切ってから外してください。ボトルを斜めに差し込むとキャップが割れ、機器内に削れカスが入る場合がありますのでご注意下さい。

- チェックポイント**
ボトルの水がなくなると
①温水蛇口から温水が出なくなります。
②新しいボトルに交換するとすぐに温水が出てきます。

6. ボトルのお取り扱いについて

ボトルは使い切りの容器です。
絶対に市販のミネラルウォーターなどの飲料を入れて再使用しないでください。

1) 賞味期限

- ①未開封の賞味期限はボトルキャップの側面に印字されています。開封後はなるべく早くお飲みください。



- ②何らかの理由で使用中にウォーターサーバーから取り出したボトルの水は飲まないでください。

2) 保管について

- 禁止** ボトルは箱に入れたままの状態で保管してください。保管の際には、箱の上下に注意してください。さかさまに置いたり、横倒しにしておくと、水が漏れることがあります。

- 禁止** 保管にあたっては、室内で温度変化の少ない清潔な場所で保管してください。

- 禁止** 次のような場所での保管は、絶対にしないでください。
●屋外、ベランダなど直射日光や雨の当たる場所
●ホコリが多い場所
●高温多湿になる場所
●氷点下になる場所
●においの強いもの(台所油や芳香剤など)の近く

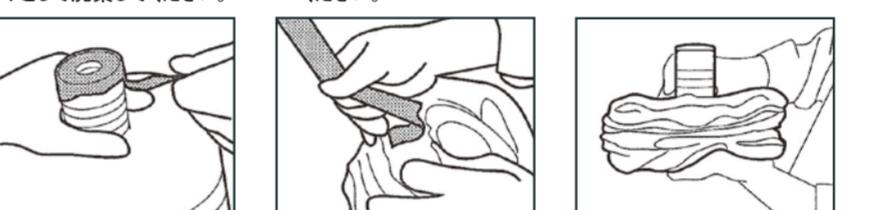
3) 使用済みのボトルについて

容器の廃棄方法(ボトルはリサイクルできるPET樹脂です。)

- ①ボトルキャップの取り外しは切り込みに沿って裂きながら外してください。ボトルキャップはプラスチックごみとして廃棄してください。

- ②ボトル底部のテープは粘着部分を引き剥がしてください。テープはプラスチックごみとして廃棄してください。

- ③ボトル本体は、使用済みのつぶれた状態で、お住まいの地域の条例に従って、廃棄してください。



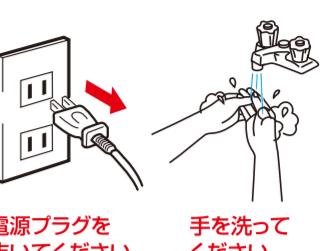
7. お手入れ方法と日常点検

7. お手入れ方法と日常点検

ウォーターサーバーの衛生管理で一番重要なことは、普段のお客さま自身によるお手入れです。

1) 普段のお手入れ

- 注意** お手入れの前にウォーターサーバーの電源プラグを抜いてください。
濡れた手でお手入れはしないでください。
洗剤で洗いをしていただき、台所用アルコール除菌剤と清潔なキッチンペーパー等を使ってください。



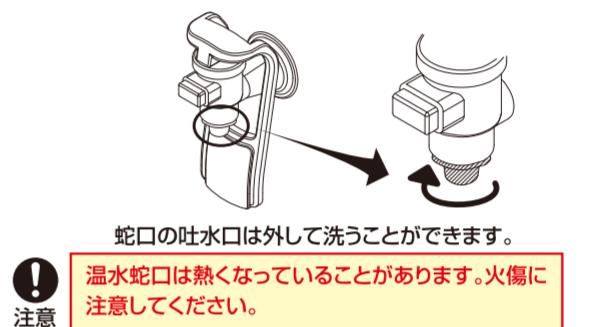
①頻繁に行っていただくお手入れ

- a.ボトル差込口及び周辺(ボトル交換時)
●ボトル差込口に水がたまっていたり、汚れが付着していると雑菌が繁殖する恐れがあります。
●水がたまつたままご使用になると温水、冷水が出なくなる事があります。
●ボトル差込口に水がたまつたら、台所用アルコール除菌剤をキッチンペーパーなどで拭き付けて消毒し、拭き取ってください。



b. 冷温水蛇口(一日一回以上)

- 特にベッドを室内に設置している場合、人の出入りが多い場所に設置している場合は、特にお手入れを頻繁に行ってください。



c. 水受皿(一日一回以上)

- 食器洗い用中性洗剤でスポンジ等を使い洗ってください。



3) 再びご使用を開始される場合

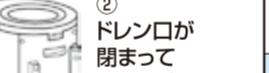
再びご使用を開始される場合は、メンテナンスが必要な場合がありますのでTOKAIお客様センター(0120-737-113)に相談してください。

お願い

再びご使用を開始されて、万が一やにおいに異常を感じられたら、TOKAIお客様センター(0120-737-113)にご連絡いただき機器内部のメンテナンス(有料)をご依頼ください。

①ウォーターサーバーのラップを取ります。

- ②蛇口と背面の温水ドレン口が閉じられているか指で回して確認する。
③ボトルの差込口、冷水蛇口、温水蛇口、温水受皿等の掃除を行なう。
(P7. お手入れ方法と日常点検)参照



④ウォーターサーバー本体に汚れや破損がないか点検する。

⑤ウォーターサーバーにボトルを差し込みます。

(P5-5) ボトルの取り付け方(参考)

- ⑥水がサーバーに入っていくとボトルが変形して壊れていきます。変形が止まるまで(1分程度)の間、水漏れがないことを確認してください。
⑦温水蛇口を1分程度押し続け、水が出てきたらエアーブロウをします。



- ⑧冷水・温水の蛇口よりコップ2杯分以上の水を取水して捨てて下さい。

- ⑨水漏れなど不具合がないか確認する。

- ⑩電源プラグにホコリが付着していないことを確認し、コンセントに差し込みます。

- ⑪背面のHOT S/W(ホットスイッチ)をONにします。

- ⑫トップカバーの上にボトルカバーを乗せます。

- ⑬適温になるまで30~40分間待ってご利用ください。室温により適温までの時間が長くなることがあります。

- ⑭温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ⑮温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ⑯温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ⑰温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ⑱温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ⑲温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ⑳温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉑温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉒温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉓温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉔温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉕温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉖温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉗温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉘温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉙温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉚温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉛温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉜温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉝温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉞温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉟温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。

- ㉟温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。